

日本蛋白質科学会ニューズレター

vol. 1, No. 1 (2001)

2001年4月1日に、日本蛋白質科学会が誕生いたしました。
ニューズレター第1号を、会員の皆様にお届けいたします。

日本蛋白質科学会の発足に当たって

日本蛋白質科学会は2001年4月1日に発足いたしました。日本蛋白質工学会、蛋白質構造討論会、蛋白質立体構造構築原理研究会が母体となって新世紀の今年、新しい学会として蛋白質科学の学会が発足できたことは、この分野が生命科学の中核として注目されるようになっている現在、タイミングも大変よかったですと思います。

母体となった団体のなかで日本蛋白質工学会が日本学術会議に登録された学会組織を持っていましたので、日本蛋白質工学会の改組改名という形で学術会議に届け出て、新しく日本蛋白質科学会がスタートしました。蛋白質工学会会長の大島泰郎博士が学術会議への届出申請の労を執って下さいました。手続きとしてはこのような次第でしたが、実際には全く新しい学会が誕生したと受け取っていただけてよいと思います。新学会は6月1日～3日に大阪で開かれる第一回年会のときに内外に向けて発足を紹介することになります。

役員を決めるための理事と次期会長の選挙はこの9月に行いますが、発足時の新学会の体制は準備委員会で別に記されたように決めました。理事は準備委員会のメンバーに研究分野などを考慮して6名を加えて31名としました。また、学会事務は日本学会事務センター大阪事務所に委託することにいたしました。この体制については第一回年会のときに開かれる総会のときに会員の皆様のご承諾を得ることになっております。また第一回年会会期中に理事会も開かれ、早速、役員選挙、Protein Society との関係、構造ゲノム科学やプロテオーム研究の推進についての話し合いが行われることになっております。

第一回の年会は6月1日～3日に大阪で月原富武委員長のもと開かれますが、本学会の発足に関する行事も兼ねて行われますので多数のご参加を期待しております。

ここに本学会の発足に当たり、蛋白質科学の領域の発展に本学会が十分に役立ちますよう皆様のご協力をお願いしたいと存じます。

2001年5月14日

会長 三浦 謹一郎

新学会仮執行部

(2001年の年会後、正式な執行部選定選挙を行うための選挙を行う予定。)

・理事：

阿久津 秀雄 (阪大・蛋白研)	有坂 文雄 (東工大・生命理工)
遠藤 斗志也 (名大・理)	大島 泰郎 (東京薬大・生命科学)
甲斐荘 正恒 (都立大・理)	鏡山 博行 (大阪医大)
川畑 俊一郎 (九大・理)	北川 禎三 (分子研)
熊谷 泉 (東北大・工)	倉光 成紀 (阪大・理)
桑島 邦博 (東大・理)	郷 信広 (京大・理)
郷 通子 (名大・理)	後藤 祐児 (阪大・蛋白研)
下西 康嗣 (阪大・名誉教授)	鈴木 紘一 (都老人研)
高尾 敏文 (阪大・蛋白研)	田中 啓二 (都臨床研)
田之倉 優 (東大・農)	月原 富武 (阪大・蛋白研)
中村 春木 (阪大・蛋白研)	永山 国昭 (生理研)
西村 善文 (横浜市大)	三木 邦夫 (京大・理)
三浦 謹一郎 (東大・名誉教授)	森川 耿右 (生物分子工学研)
山懸 ゆりこ (熊大・薬)	横山 茂之 (東大・理、理研)
吉田 賢右 (東工大・資源化学研)	米田 悦啓 (阪大・医)
和田 敬四郎 (金沢大・理)	

・会長：三浦 謹一郎

・副会長：大島 泰郎，月原 富武

・庶務：後藤 祐児

・会計：有坂 文雄

・会計監査：千谷 晃一，崎山 文夫

・選挙管理委員会委員：桑島 邦博，田之倉 優

・広報：中村 春木

日本蛋白質科学会会則（案）

第1条 本会は、日本蛋白質科学会という。

第2条 本会は、広く蛋白質に関する科学の研究を推進し、わが国における学術の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は、年会、研究会などの学術集会・学術講演会の開催、刊行物の発行、その他前条の目的を達成するために必要な事業を行う。

第4条 本会の会員は正会員と賛助会員とする。

1．正会員は蛋白質科学に関する研究に従事、またはこれに関心を持つ個人であって、本会の目的に賛同し、別に定める会費を納める者をいう。

2．賛助会員は本会の目的に賛同し、別に定める賛助会費1口以上を納める個人又は団体をいう。

第5条 正会員および賛助会員になろうとする者は、それぞれ所定の入会手続きに従って申し込み、会長の承認を得なければならない。

第6条 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。

1．退会

2．禁治産者および準禁治産者の宣告

3．死亡、失踪宣言、団体の賛助会員にあってはその団体の解散

4．除名

第7条 会員は会長に届け出て退会することができる。

第8条 会員が次の各号のいずれかに該当する時は、理事会の議決を経て除名されることがある。

1．会費を滞納したとき

2．その他会員として不適格と認められたとき

第9条 本会には、会長1名、副会長2名、理事若干名、および会計監査2名を置く。

1．会長は会を代表し、会務を統括する。

2．副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は互選により1名が会長の職務を代行する。

3．理事会は会長、副会長、理事により構成され、本会に関する諸事項を審議し、事業を執行する。

4．会計監査は本会の会計を監査する。

第10条 会長、副会長、理事、会計監査は、細則の定めにより、正会員の中より選出される。

第11条 会長、副会長、理事、会計監査の任期はそれぞれ2年間とする。

第12条 会長、副会長、会計監査は連続して2期行うことはできない。

第13条 連続2期4年選出された理事は、その後1期2年間選出されることはできない。

第14条 本会は原則として年1回総会を開き、会務を協議し、議決する。総会は会長または会長代行が招集する。

第15条 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第16条 本会則の変更ならびに本会の解散は、総会の議決により行う。

第17条 本会則の執行について必要な細則は、理事会の審議を経た後、会長が総会に報告し承認を得て、別に定める。

第18条 本会則は、平成13年4月1日より施行する。

日本蛋白質科学会細則（案）

第1章 会員

第1条 本会に正会員として入会を希望する者は、所定の入会申込書に必要事項を記入し、初年度分会費を添えて会長に提出するものとする。

第2条 会員は下記の会費を納めるものとする。

正会員 年額 3,000 円。ただし学生は年額 1,500 円。

賛助会員 年額1口以上。一口 50,000 円。

第2章 総会

第3条 総会の議案は会長が作成し、理事会の議決を経て提出する。議案には前年度の事業内容および収支決算、新年度の事業計画、および新年度予算を含むものとする。

第4条 総会は正会員100名以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。

第5条 総会の議決は出席正会員の過半数の賛成によって成立する。

第3章 役員の選出

第6条 理事は毎年半数を改選する。改選は次のように行う。

1. 会長は正会員の中から2名を選んで選挙管理委員を委嘱する。選挙管理委員は互選により責任者を選び、選挙事務を行う。
2. 投票は1人1票、無記名5名連記とし、郵送によるものとする。
3. 得票者中の上位の者から順に9名程度を選出する。
4. 会長が必要と認めた場合には、理事会の承認を受けて新たに理事を2名まで指名することができる。但しこの理事の任期は、指名した会長の任期が終了するまでとする。

第7条 新会長の選任は次のように行う。

1. 理事会で新会長候補者を2または3名推薦し、正会員の投票により最高得票者を新会長とする。
2. 最高得票を得たものが2名以上ある場合には、抽選により新会長を決定する。

第8条 新副会長は、会長が指名し正会員の承認を経て選任される。

第9条 新会計監査は、会長が指名し正会員の承認を経て選任される。

第4章 理事会

第10条 理事会は会長あるいは会長代行によって招集され、会長あるいは会長代行が議

長となる。開催はあらかじめ理事全員に通告されなければならない。

第11条 理事会は理事の半数以上（委任状を含む）の出席をもって成立する。

第12条 理事会の議決は出席者の過半数の賛成によって成立する。

第5章 付則

第13条 本細則は、平成13年4月1日よりこれを実施する。

第14条 平成13年4月1日から平成13年9月末日までの間は、暫定的に、新学会準備委員会が定める仮執行部体制とする。

1. この仮執行部は、新学会準備委員会が推薦する会長、副会長2名、理事若干名、および会計監査2名によって構成され、第1回日本蛋白質科学会年会の総会において、会員によって承認を経ることとする。

2. この仮執行部はできるだけ早期に新会長と新理事とを選出し、選出後は直ちに解散する。

3. この仮執行部の会長、副会長、理事、会計監査は、会則第12条、第13条による任期の連続性に関する制限を受けないものとする。

4. この仮執行部が新理事を選出する際に限り、平成15年3月末日までの任期の理事と、平成16年3月末日までの任期の理事とを別々に9名程度ずつ選出する。

5. この条項は、平成13年10月1日以降は無効とする。

発会式ならびに第1回総会のご案内

日本蛋白質科学会 会員 各位

第1回年会の第1日目に、日本蛋白質科学会発会式ならびに第1回総会を、下記の要領により開催いたしますので、会員各位のご出席をお願いいたします。

会長 三浦謹一郎

記

日 時：平成13年6月1日（金）10：00～11：00

会 期：大阪大学コンベンションセンターMO ホール

（ご欠席の会員は、このニュースレターに同封されている委任状を事前（郵送）または年会当日に受付へご提出下さい。）

以上

第 1 回日本蛋白質科学会年会

会 期：2001年6月1日(金)～3日(日)

会 場：大阪大学吹田地区

大阪大学コンベンションセンター（A会場，参加受付，年会本部，クローク）

大阪大学医学部講義棟（B～E会場）

吹田地区体育施設（体育館）（ポスター会場，機器展示会場）

参加者へのご案内

1. 年会受付について

年会の参加受付は，6月1日(金) 9:00よりコンベンションセンターの1階ロビーにて行います。

事前参加登録予約をされた方は，年会参加章とプログラム・要旨集をお渡しいたしますので，参加予約番号と名前を受付でお申し出ください。なお，念のため「参加登録予約受領証」（ホームページ上で表示）もしくは「参加登録予約受付証」（E-mail），参加費の払込（振込）を証明するものをご持参くださいますようお願いいたします。

当日受付の参加費は，一般7,000円，学生5,000円です。

また，年会参加費には，プログラム・要旨集を含みます。

2. 設立祝賀会について

日本蛋白質科学会の設立祝賀会を，6月1日(金) 18:00より千里阪急ホテル西館2階の仙寿の間にて開催いたします。設立祝賀会参加の当日受付は，一般9,000円，学生4,000円いただきます。

また，6月1日(金) 17:30には，大阪大学コンベンションセンター前から設立祝賀会会場まで4台のチャーターバスを発車させますので，ご利用ください。

3. クロークについて

コンベンションセンター1階にて行います。

4. 機器・試薬・書籍等展示会について

吹田地区体育施設（体育館）（ポスター会場と同じ）にて，6月1日(金) 10:00～17:00，6月2日(土) 9:00～17:00，6月3日(日) 9:00～13:00に行います。展示会場に休憩コーナーを設け，コーヒーサービスを行います。

5. 呼び出しについて

会場での放送やサブスライドによる呼び出しは行いません。受付の横に伝言板を用意しますので，それをご利用ください。

6. 昼食について

会期中は，最寄りのレストラン「ローゼン」と，生協食堂（2階，1階）をご利用ください。営業時間は以下のとおりです。

レストラン「ローゼン」	6月1日(金)	11:30～19:30 (コーヒーは11:00～)
	6月2日(土)	11:30～14:30
	6月3日(日)	11:30～14:30
生協食堂	6月1日(金)	8:30～20:00 (1階は～17:00)
	6月2日(土)	8:30～15:00 (1階は～14:00)
	6月3日(日)	11:30～14:00 (1階のみ営業)

ただし，3日(日)は1階で弁当を販売しますので，2階で摂ってください；2階は場所のみ確保しており，湯茶のサービスを致しません。

また、2日(土)の夕刻のワークショップの際は、B・C会場の前で軽食を販売致します。
その他、レストランは医学部附属病院の1階(2日11:00～19:00, 3日11:00～19:00)と、コンビニエンスストアがモノレール駅の付近(大阪大学門外)にあります。

7. 駐車場

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください(大阪大学構内に入れません)。

8. 理事会

6月2日(土) 12:15～13:30 にレストラン「ミネルヴァ」(銀杏会館2階)にて開催いたします。

9. 連絡先

〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル14階
(財)日本学会事務センター大阪事務所(学会センター関西)内
第1回日本蛋白質科学会年会事務局
Tel. 06-6873-2301
Fax. 06-6873-2300
E-mail: tanpaku1@bcasj.or.jp
<http://www.casjo.org/protein2001/>

年会会期中：年会本部 大阪大学コンベンションセンター 会議室1(1階)
吹田市山田丘1-1
Tel. 090-5011-5362
Fax. 06-6879-8606

発表者へのご案内

1 口頭発表について

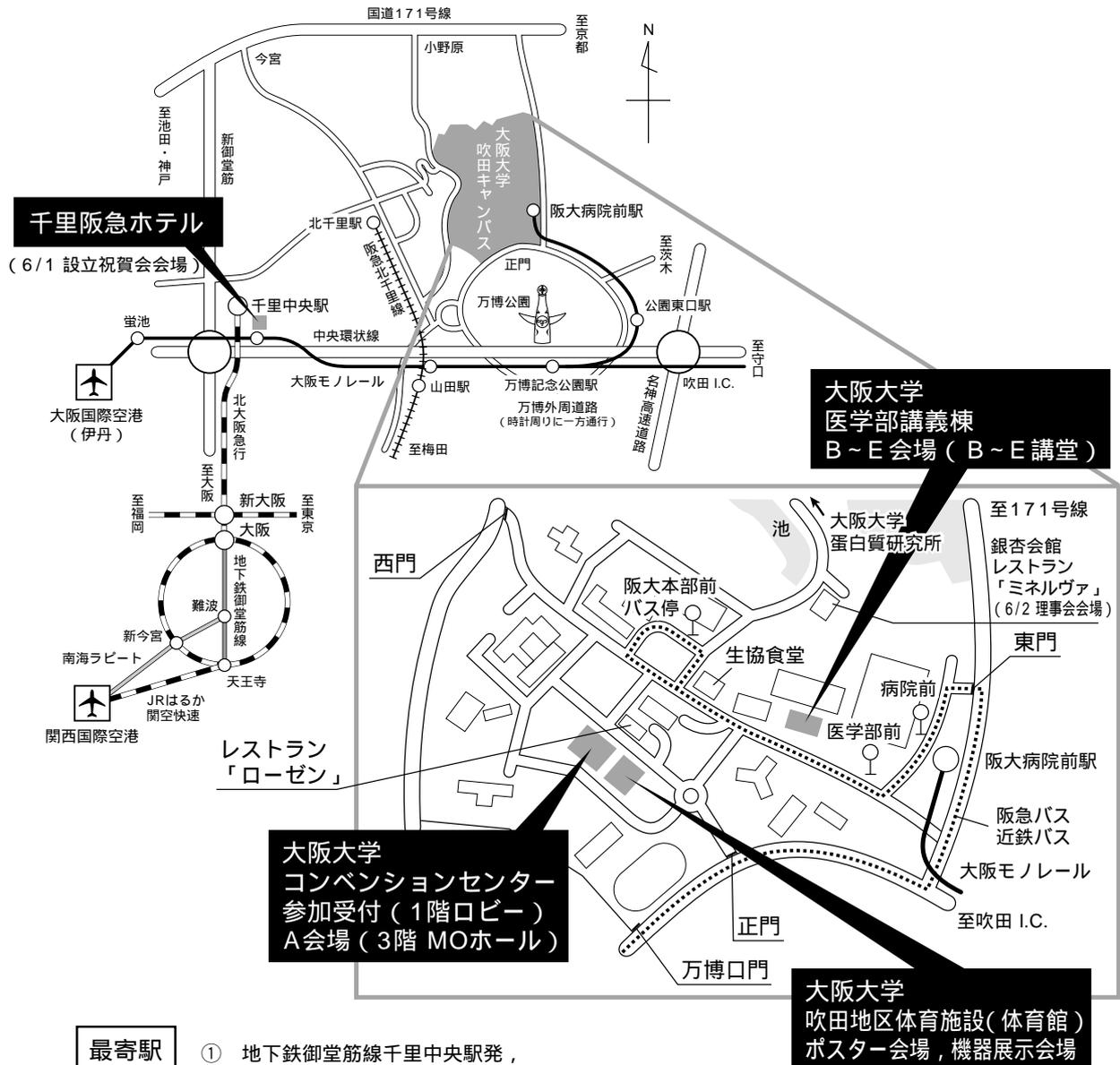
- (1) 進行は座長に一任されています。講演順序、講演時間等座長の指示に従ってください。
- (2) 発表に使用できるのは液晶プロジェクター、35mm判スライドプロジェクター、OHPプロジェクター各1台のみです。併用は避けてください。なお、液晶プロジェクターの使用予定がある方は、プロジェクターに接続可能なコンピュータ(D-sub 15ピンにて接続)をお持ち込みください。また、事前に上記年会事務局宛にE-mailかファックスにて持込みをするコンピュータの機種をご連絡ください。
- (3) 一般演題より採択したワークショップ演題(下記)は、ワークショップでの口頭発表とポスター発表との両方を行っていただきます(発表要旨はワークショップとして掲載します)。
W1-3 (P4)、W1-6 (P2)、W2-6 (P30)、W3-7 (P46)、W3-8 (P48)、W4-3 (P58)、
W6-7 (P138)、W7-4 (P50)

2 ポスター発表について

- (1) ポスター発表は年会第2日目(6月2日)と3日目(6月3日)に行います。ポスターの説明時間は、ポスター番号が奇数の方は、6月2日(土) 13:00～14:30、偶数の方は、6月3日(日) 13:00～14:30ですので、発表者は該当する説明時間帯に各自ポスターの前に待機し質疑応答に備えてください。
- (2) 掲示：年会第1日目(6月1日) 9:00～17:00または第2日目(6月2日) 8:30～12:00の間に各自掲示し、展示したままにしてください。取り外しは、年会第3日目(6月3日)の14:30～17:30の間に各自でお願いします。当方での取り外し、返却はいたしません。
- (3) ポスターパネル：幅90cm、高さ210cmのパネルを使用し、展示有効スペースは幅90cm、高さ160cmです。各自のパネルの左端に20cm×20cmの演題番号が表示されておりますので、横70cm×縦20cmの演題名、発表者名、所属の入ったタイトルをご用意ください。

会場案内図

大阪大学吹田キャンパス周辺図



最寄駅

- ① 地下鉄御堂筋線千里中央駅発，
阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘」乗車，
阪大本部前下車
- ② 大阪モノレール阪大病院前駅下車
- ③ 阪急電車千里線北千里駅下車，東へ徒歩約20分
- ④ 阪急電車京都線茨木市駅発，
近鉄バス「阪大本部前行」乗車，阪大本部前下車
- ⑤ JR東海道線茨木駅発，
近鉄バス「阪大本部前行」乗車，阪大本部前下車

主要ターミナルからのアクセス

出発地	アクセス方法	(所要時間)
新大阪駅から	地下鉄御堂筋線千里中央駅下車 ①または②へ	約1時間
大阪国際空港(伊丹)から	大阪モノレール阪大病院前下車	約1時間
関西国際空港から	JR大阪駅下車で地下鉄御堂筋線千里中央駅下車 ①または②へ， または、南海電車難波駅下車で地下鉄御堂筋線千里中央駅下車 ①または②へ	約2時間

日 程 表

6月1日 (金)

	A 会場 参加受付	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ポスター会場 機器展示会場
	コンベンションセンター MOホール (3階)	医学部講義棟 B講堂 (2階)	医学部講義棟 C講堂 (2階)	医学部講義棟 D講堂 (3階)	医学部講義棟 E講堂 (3階)	吹田地区体育施設 (体育館)
9:00	(1階ロビー) 参加受付開始					
10:00	新学会発開式 総会					
11:00	記念講演会1 PL-1 Christopher M. Dobson					ポスター貼付 (9:00 ~ 17:00)
12:00						
13:00	記念講演会2 PL-2 Allen P. Minton					
:30	PL-3 大島泰郎					
14:00	PL-4 郷 信広					機器展示 (10:00 ~ 17:00)
:30	PL-5 森川耿右					
15:00	休 憩					
:30	PL-6 矢原一郎					
16:00	PL-7 御子柴克彦					
:30	PL-8 赤坂一之					
17:00	PL-9 鈴木紘一					
:30	チャーターバスにて移動					
18:00	設立祝賀会 (千里阪急ホテル 仙寿の間(西館2階))					
20:00						

6月2日 (土)

	A 会場 参加受付	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ポスター会場 機器展示会場
	コンベンションセンター MOホール (3階)	医学部講義棟 B講堂 (2階)	医学部講義棟 C講堂 (2階)	医学部講義棟 D講堂 (3階)	医学部講義棟 E講堂 (3階)	吹田地区体育施設 (体育館)
9:00	シンポジウムS1 「分子細胞生物学と 構造生物学の融合」 オーガナイザー: 米田悦啓					ポスター貼付 (8:30 ~ 12:00)
12:00						機器展示 (9:00 ~ 17:00)
13:00						ポスターセッション (奇数番号説明時間)
14:30		ワークショップ1 「細胞内における 蛋白質の成熟、 移動、品質管理」 オーガナイザー: 遠藤斗志也 オーガナイザー: 河野憲二	ワークショップ2 「蛋白質の大量発 現系と発現蛋白質 の精製」 オーガナイザー: 田嶋正二 オーガナイザー: 児玉龍彦	ワークショップ3 「ゲノム時代の蛋 白質情報科学 (1) ゲノム規模の蛋白 質分類」 オーガナイザー: 美宅成樹 オーガナイザー: 木寺詔紀	ワークショップ4 「構造生物学 ワークショップ」 オーガナイザー: 阿久津秀雄	ポスター展示 (12:00 ~ 17:30)
17:30						
18:00		ワークショップ5 「機能を生み出す 蛋白質立体構造の 変化」 オーガナイザー: 北尾彰朗 オーガナイザー: 桑島邦博	ワークショップ6 「蛋白質複合体と 集合体の構造生物 学」 オーガナイザー: 田之倉優 オーガナイザー: 三木邦夫	ワークショップ7 「ゲノム時代の蛋 白質情報科学 (2) 構造と機能の予測」 オーガナイザー: 西川 建 オーガナイザー: 郷 通子	ワークショップ8 「構造生物学 ワークショップ」 オーガナイザー: 阿久津秀雄	
21:00						

6月3日(日)

	A会場 参加受付	B会場	C会場	D会場	E会場	ポスター会場 機器展示会場
	コンベンションセンター MOホール(3階)	医学部講義棟 B講堂(2階)	医学部講義棟 C講堂(2階)	医学部講義棟 D講堂(3階)	医学部講義棟 E講堂(3階)	吹田地区体育施設 (体育館)
9:00	公募型 シンポジウムS2 座長：小林祐次 永井克也					ポスター展示 (9:00～14:30) 機器展示 (9:00～13:00)
12:00						
13:00						ポスターセッション (偶数番号説明時間)
14:30	シンポジウムS3 「ゲノミクスと プロテオミクス」 ホカガザ：高尾敏文					ポスター撤去 (14:30～17:30)
17:30						

年会実行委員会

委員長：月原 富武（阪大・蛋白研）

相本 三郎（阪大・蛋白研）

阿久津秀雄（阪大・蛋白研）

木村 能章（生物分子工学研）

倉光 成紀（阪大院・理）

小林 祐次（阪大院・薬）

鈴木晋一郎（阪大院・理）

高尾 敏文（阪大・蛋白研）

谷澤 克行（阪大・産研）

中川 敦史（阪大・蛋白研）

乗岡 茂巳（阪大・蛋白研）

福山 恵一（阪大院・理）

油谷 克英（阪大・蛋白研）

赤路 健一（阪大・蛋白研）

金澤 浩（阪大院・理）

楠木 正巳（阪大・蛋白研）

後藤 祐児（阪大・蛋白研）

酒井 宏明（阪大・蛋白研）

関口 清俊（阪大・蛋白研）

田嶋 正二（阪大・蛋白研）

永井 克也（阪大・蛋白研）

中村 春木（阪大・蛋白研）

長谷 俊治（阪大・蛋白研）

二井 将光（阪大・産研）

吉川 和明（阪大・蛋白研）

プログラム委員会

委員長：中村 春木（阪大・蛋白研）

神田 大輔（生物分子工学研）

後藤 祐児（阪大・蛋白研）

米田 悦啓（阪大院・医）

木寺 詔紀（横浜市大院・総合理）

高尾 敏文（阪大・蛋白研）

日本蛋白質科学会

第1回年会開催プログラム「新世紀における蛋白質科学」

6月1日(金)

A会場 (コンベンションセンター MOホール (3階))

10:00 ~ 11:00 新学会発開式, 総会

11:00 ~ 12:00 記念講演会 1

座長: 三浦謹一郎 (学習院大・生命分子科学研)

PL-1 Protein Folding, Molecular Evolution and Human Disease
Christopher M. Dobson (Oxford Ctr. for Mol. Sci., Univ. Oxford, President of the Protein Society)

13:00 ~ 17:30 記念講演会 2 (休憩 15:00 ~ 15:30)

13:00 ~ 13:30 座長: 有坂文雄 (東工大院・生命理工)

PL-2 Macromolecular crowding drives amyloid formation by human apolipoprotein C-II
D.M. Hatters¹, G.J. Howlett¹, Allen P. Minton² (Univ. of Melbourne¹, NIH²)

13:30 ~ 14:00

PL-3 好熱菌に学ぶタンパク質の耐熱化設計
大島泰郎 (東薬大・生命科学)

14:00 ~ 14:30

座長: 中村春木 (阪大・蛋白研)

PL-4 ATP結合蛋白質の構造機能分類と進化
松田敬子¹, 西岡孝明¹, 木下賢吾², 郷信広³ (京大院・農¹, 横浜市大院・総合理², 京大院・理³)

14:30 ~ 15:00

PL-5 結晶構造からみた代謝型グルタメートレセプターの基質認識機構
森川耿右, 陣上久人 (生物分子工研)

15:30 ~ 16:00

座長: 米田悦啓 (阪大院・医)

PL-6 ストレス応答と分子シャペロン
矢原一郎 (医学生物学研)

16:00 ~ 16:30

PL-7 細胞内Ca²⁺を産生する巨大Ca²⁺チャネル: IP3レセプター
御子柴克彦 (東大医科研, 理研・脳セ)

16:30 ~ 17:00

座長: 後藤祐児 (阪大・蛋白研)

PL-8 広い構造空間を探索する蛋白質研究の新しいパラダイム
赤坂一之 (立命館大・理工, 理研播磨)

17:00 ~ 17:30

PL-9 カルパイン: 構造と機能相関ならびに生理機能
鈴木紘一 (都老人研)

18:00 ~ 20:00 設立祝賀会 (千里阪急ホテル 仙寿の間 (西館2F))

6月2日(土)

A会場(コンベンションセンター MOホール(3階))

9:00 ~ 12:00 シンポジウム S1

S1: 「分子細胞生物学と構造生物学の融合」

オーガナイザー: 米田悦啓(阪大院・医)

- S1-1 染色体DNAの崩壊の分子機構と生理作用
長田重一(阪大院・医・生体制御遺伝)
- S1-2 Caspase-activated DNaseとICADドメイン構造と機能
山崎俊夫(阪大・蛋白研)
- S1-3 酸化プリンヌクレオシド三リン酸分解酵素MTH1の分子細胞生物学
中別府雄作(九大・生医研)
- S1-4 塩基の化学修飾を認識する蛋白質の立体構造
白川昌宏¹, 三島正規¹, 大木出¹, 下竹敦哉², 伊藤紀之², 中別府雄作³, 中尾光善⁴(横浜市大院・総合理¹, 奈良先端大・バイオ², 九大・生医研³, 熊大・医⁴)
- S1-5 SH3ドメイン: 古い構造に新しい機能 - 分子生物学からのアプローチ
住本英樹(九大・生医研・細胞機能制御)
- S1-6 SH3ドメイン: 古い構造に新しい機能 - 構造生物学からのアプローチ
神田大輔(生物分子工研・構造解析)

ポスター会場(吹田地区体育施設(体育館))

13:00 ~ 14:30 ポスターセッション(奇数番号説明時間)

(ポスターは6月1日(金)9:00 ~ 17:00または6月2日(土)の8:30 ~ 12:00の間に掲示して下さい)

14:30 ~ 17:30 ワークショップ

B会場(医学部講義棟B講堂(2階))

W1: 「細胞内における蛋白質の成熟, 移動, 品質管理」

オーガナイザー: 遠藤斗志也(名大院・理), 河野憲二(奈良先端大)

- W1-1 シャペロニンの作用機構
吉田賢右(東工大・資源研)
- W1-2 タンパク質にジスルフィド結合を導入する細胞の仕組み
伊藤維昭, 小林妙子, 高橋由貴, 稲葉謙次(京大・ウイルス研)
- W1-3 (P4) SA-I膜タンパク質の合成に共役したトポロジー形成とオルガネラ標的化
阪口雅郎, 木田祐一郎, 三原勝芳(九大院・医・機能高分子設計)
- W1-4 前駆体タンパクのアンフォールディングと輸送におけるミトコンドリアHsp70の役割
岡本浩二(ミュンヘン大・生理化学研究所)
- W1-5 Translocation, unplugged: エネルギーを使わずにタンパク質の膜透過を駆動する仕組み
江崎雅俊, 遠藤斗志也(名大院・理)
- W1-6 (P2) ミトコンドリアタンパク質前駆体のプロセッシングにおける分子認識とその構造
北田栄¹, Alexander B. Taylor², Barbara S. Smith², 小嶋克彦¹, Johann Deisenhofer², 伊藤明夫¹(九大院・理・化学¹, テキサス大・南西医療セ・生化²)
- W1-7 小胞体におけるタンパク質の品質管理: Unfolded Protein Responseを中心に
河野憲二, 岩脇隆夫, 岡村勝友, 細田章, 都留秋雄, 木俣行雄(奈良先端大・遺伝子教育セ)

C会場 (医学部講義棟C講堂 (2階))

W2 : 「蛋白質の大量発現系と発現蛋白質の精製」

オーガナイザー : 田嶋正二 (阪大・蛋白研), 児玉龍彦 (東大・先端研)

- W2-1 ファージディスプレイ系を用いた抗体産生技術
 黒澤良和 (藤田保衛大・総合医科研)
- W2-2 分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* を用いた異種タンパク質生産系
 浜祐子 (旭硝子(株)・ASPEX 事業推進部・研究開発)
- W2-3 レセプター蛋白質 mGluR の機能ドメイン発現と構造解析
 陣上久人¹, 森川耿右² (生物分子工研・機能解析¹, 構造解析²)
- W2-4 パキキュロウイルスへの蛋白質の発現と抗体作成
 浜窪隆雄, 山口美峰子, 高橋一彰, 竹野哲, 田中十志也, 増田一之, 児玉龍彦 (東大・先端研・分子生物)
- W2-5 カイコを用いたパキキュロウイルスによるタンパク質大量発現系
 馬嶋景¹, 鈴木健夫¹, 金谷利通¹, 武内恒成² (片倉工業・中央蚕研事業所¹, 名大院・理・生命理²)
- W2-6 (P30) 迅速, 高収量な蛋白質発現法 - 無細胞蛋白質合成系
 矢吹孝¹, 松田貴意¹, 元田容子¹, 松田夏子¹, 木川隆則^{1,2}, 横山茂之^{1,2,3} (理研・GSC¹, 理研・細胞情報伝達², 東大院・理・生化³)
- W2-7 ジェノミクスからプロテオミクスへコムギ胚芽無細胞タンパク質合成系の開発と応用
 遠藤弥重太, 澤崎達也 (愛媛大・工・応用化学)

D会場 (医学部講義棟D講堂 (3階))

W3 : 「ゲノム時代の蛋白質情報科学(1)ゲノム規模の蛋白質分類」

オーガナイザー : 美宅成樹 (東京農工大・工), 木寺詔紀 (横浜市大院・総合理)

- W3-1 網羅的な蛋白質形態分類への道(総論に代えて)
 美宅成樹 (東京農工大・工)
- W3-2 ゲノム時代の人工タンパク質デザイン
 芝清隆 (癌研・細胞生物)
- W3-3 Glycosidase TIM パレル・スーパーファミリーの構造・配列・機能の系統的解析
 長野希美 (産総研・生命情報科学研究セ)
- W3-4 極性表面に注目した膜タンパク質分類
 諏訪牧子 (産総研・生命情報科学研究セ)
- W3-5 蛋白質の比較・分類学の方法論
 木寺詔紀 (横浜市大院・総合理)
- W3-6 構造ゲノム科学のための蛋白質分類
 松尾洋 (理研・GSC)
- W3-7 (P46) 大腸菌リポ蛋白質遺伝子の網羅的解析
 松山伸一, 田中貴美枝, 徳田元 (東大・分生研, CREST)
- W3-8 (P48) Prediction of MHC class I binding peptides by a query learning algorithm with hidden Markov models
 Keiko Udaka¹, Hiroshi Mamitsuka², Naoki Abe² (Dept. of Biophys., Kyoto Univ.¹, Theory NEC Lab., RWCP c/o Internet Systems Res. Lab., NEC Corporation²)

E会場(医学部講義棟E講堂(3階))

W4:「構造生物学ワークショップI」

オーガナイザー:阿久津秀雄(阪大・蛋白研)

- W4-1 構造ゲノム科学と構造生物学
西村善文(横浜市大院・総合理)
- W4-2 理化学研究所・ゲノム科学総合研究センター(GSC)における構造ゲノム科学研究への取り組み
木川隆則¹,白水美香子¹,廣田洋¹,横山茂之^{1,2,3}(理研・GSC¹,理研・細胞情報伝達²,東大院・理³)
- W4-3 (P58) ヒトゲノムデータから予想した新規Gタンパク質共役受容体候補遺伝子の解析
武田茂樹¹,芳賀達也^{1,2},高江洲宏智³,美宅成樹³(学習院大・生命研¹,科技団²,東京農工大・工³)
- W4-4 タンパク質の高効率・高精度立体構造解析
甲斐荘正恒^{1,2},寺内勉¹,小野明¹,大木進野¹,早野俊哉^{1,2},清水真人^{1,2}(CREST・JST¹,都立大院・理²,理研・GSC³)
- W4-5 低分子量G蛋白質Rhoの活性化についての構造生物学的研究
箱島敏雄(奈良先端大・バイオサイエンス)
- W4-6 Vav-nSH3とGrb2-cSH3相互の新しい分子認識
西田元彦^{1,2},永田宏治³,八森由貴子³,小椋賢治^{1,2},堀内正隆^{1,2},稲垣冬彦^{1,2}(CREST¹,北大・薬²,都臨床研³)
- W4-7 リボソーム再生因子(RRF)の構造生物学的研究
小林祐次(阪大院・薬)
- W4-8 NMRによるCPD photolyaseのDNA認識機構の解明
鳥澤拓也¹,上田卓見¹,加藤晃一¹,倉光成紀²,人見研一³,藤堂剛³,岩井茂憲⁴,嶋田一夫¹(東大院・薬¹,阪大院・理²,京大・放生研³,生物分子工研⁴)

18:00 ~ 21:00 ワークショップ

B会場(医学部講義棟B講堂(2階))

W5:「機能を生み出す蛋白質立体構造の変化」

オーガナイザー:北尾彰朗(京大院・理),桑島邦博(東大院・理)

- W5-1 立体構造間のジャンプと蛋白質機能の関係
北尾彰朗(京大院・理)
- W5-2 構造解析から得られた蛋白質機能発現過程解明の手がかり
中迫雅由(東大)
- W5-3 蛋白質の過渡的揺らぎとダイナミクス
寺嶋正秀(京大院・理)
- W5-4 蛋白質の大規模構造変化と機能
笹井理生(名大院・人間情報)
- W 5-5 溶媒が誘起する蛋白質立体構造の変化
平田文男(分子研)

C会場(医学部講義棟C講堂(2階))

W6:「蛋白質複合体と集合系の構造生物学」

オーガナイザー:田之倉優(東大院・農),三木邦夫(京大院・理)

- W6-1 蛋白質複合体と集合系の構造生物学
田之倉優(東大院・農)

- W6-2 生体超分子複合体の構造構築機構
月原富武 (阪大・蛋白研)
- W6-3 チャネルの構造と機能
藤吉好則 (京大院・理・生物物理)
- W6-4 細菌べん毛の分子構造から自己構築とサブ 精度のスイッチ機構にせまる
難波啓一 (ERATO・JST, 松下電器産業 (株)・先端技術研)
- W6-5 P型イオンポンプの能動輸送機構
豊島近 (東大・分生研)
- W6-6 PCB 分解系酵素群の構造生物学
千田俊哉^{1,2}, 福田雅夫¹ (長岡技科大・生物¹, 産総研・生物情報解析研究セ²)
- W6-7 (P138) タバコネクロシウイルスの構造と再構成
石飛周, 福山恵一 (阪大院・理)
- W6-8 おわりに
三木邦夫 (京大院・理)

D 会場 (医学部講義棟D 講堂 (3階))

W7 : 「ゲノム時代の蛋白質情報科学(2)構造と機能の予測」
オーガナイザー : 西川建 (遺伝研), 郷通子 (名大院・理)

- W7-1 ゲノム蛋白質構造予測データベース(GTOP)とその応用
西川建 (遺伝研)
- W7-2 蛋白質立体構造モデリング : 国際コンテスト(CASP4)への参加とその後の展開
梅山秀明, 海老沢計慶, 岩館満雄, 栗原庸次, 竹田志鷹真由子 (北里大・薬・生物分子設計)
- W7-3 構造解析のターゲット選択 : 迅速な構造決定が可能な蛋白質ドメインの同定システム
黒田裕, 横山茂之 (理研・GSC)
- W7-4 (P50) 蛋白質立体構造を用いた相同性認識 - FUGUE による微生物ゲノムの解析
白井宏樹, 水口賢司 (ケンブリッジ大・生化)
- W7-5 From fold recognition to function prediction
Adam Godzik (The Burnham Inst., Joint Gr. for Structural Genomics, Univ. of California San Diego)
- W7-6 プロテオーム研究の現場から計算科学に期待すること
平野久 (横浜市大・木原研, 院総合理)
- W7-7 まとめ - ポストゲノム時代の蛋白質情報科学
郷通子 (名大院・理・生命理)

E 会場 (医学部講義棟E 講堂 (3階))

W8 : 「構造生物学ワークショップII」
オーガナイザー : 阿久津秀雄 (阪大・蛋白研)

- W8-1 異物排出蛋白の分子構造と機能
山口明人 (阪大・産研)
- W8-2 固体NMRによる膜タンパク質の構造解析法の展望
藤原敏道 (阪大・蛋白研)
- W8-3 蛋白質構造多形のシミュレーション計算による解析
肥後順一¹, 小野聡², 黒田正孝³, 中島伸介⁴, 中村春木⁴ (東薬大・生命科学¹, 三菱東京製薬², 田辺製薬³, 阪大・蛋白研⁴)
- W8-4 新規アフィニティ精製技術開発とそれからの展開
半田宏, 和田忠士, 山口雄輝, 西郷志, 長谷川慎 (東工大・フロンティア創造共同研究セ)
- W8-5 古細菌 Holliday 分岐切断酵素 Hjc の立体構造と DNA 認識機構
西野達哉, 小森加代子, 土屋大輔, 石野良純, 森川耿右 (生物分子工研)

- W8-6 細胞分裂に關与する蛋白質 YhhP の CPXP 配列モチーフは構造と機能に重要である
 神藤平三郎¹, 泊輝久¹, 小野克輝¹, 田代桜子¹, 水野猛², 山田寿美², 八田知久³, 加藤悦子³, 山崎俊正³ (東薬大¹, 名大院・農², 農水省・資源研³)
- W8-7 RNA 結合タンパク質の立体構造・ダイナミクスと標的核酸認識との相関 - hnRNP D0 と Musashi1 タンパク質について -
 片平正人¹, 宮の入洋平¹, 榎園能章¹, 松田剛¹, 渡辺道直¹, 宮下博之¹, 永田 崇¹, 石川冬木², 岡野栄之³, 上杉晴一¹ (横浜国大院・環境情報¹, 東工大院・生命理工², 慶応大・医³)

6月3日(日)

A会場 (コンベンションセンター MOホール (3階))

9:00 ~ 12:00 公募型シンポジウム S2

座長: 小林祐次 (阪大院・薬), 永井克也 (阪大・蛋白研)

- S2-1 X線1分子計測で蛋白質分子内局部運動を見る
 佐々木裕次^{1,2}, 奥村泰章^{2,3}, 大石昇⁴, 須田斎⁵, 足立伸一⁶, 八木直人² (科技団・さきがけ研究21¹, JASRI/SPring-8², 信州大院・工³, 帝京大・医⁴, 東海大・生物⁵, 理研・播磨⁶)
- S2-2 原子間力顕微鏡による GFP の延伸特性の測定
 荒川秀雄, 山田隆文, 猪飼篤 (東工大院・生命理工)
- S2-3 RNA ポリメラーゼにおける分子メモリー効果と転写調節
 嶋本伸雄¹, 須佐太樹¹, センランジャン^{1,2} (遺伝研, 総研大・遺伝学専攻¹, 現: NIH²)
- S2-4 クロマチン構造変換反応における新規蛋白質の機能解明および蛋白質機能と蛋白質三次構造の関連性の解明に対する独自の戦略
 堀越正美 (東大・分生研・発生分化構造, 科技団・創造科学技術推進事業・堀越ジーンセレクタ - プロジェクト)
- S2-5 超好熱菌由来の Pyrrolidone Carboxyl Peptidase の熱安定化機構
 田中秀明¹, 因正信², 水島恒裕¹, 小笠原京子¹, 太田元規³, 月原富武¹, 油谷克英¹ (阪大・蛋白研¹, 九州女子大², 遺伝研³)
- S2-6 抗体の人工選択とヒト細胞表面解析への多角的利用
 熊谷泉¹, 津本浩平¹, 渡辺秀樹¹, 近藤英昌², 西宮佳志², 工藤俊雄³, 浅野竜太郎³ (東北大院・工・生工¹, 産総研², 東北大・加齢研³)

ポスター会場 (吹田地区体育施設 (体育館))

13:00 ~ 14:30 ポスターセッション (偶数番号説明時間)

(ポスターは6月1日(金)の9:00 ~ 17:00または6月2日(土)の8:30 ~ 12:00の間に掲示して下さい)

A会場 (コンベンションセンター MOホール (3階))

14:30 ~ 17:30 シンポジウム S3

S3「ゲノミクスとプロテオミクス」

オーガナイザー: 高尾敏文 (阪大・蛋白研)

- S3-1 Characterization of human cDNAs encoding large proteins
 Michio Oishi, Takahiro Nagase, Reiko Kikuno, Osamu Ohara (Kazusa DNA Res. Inst.)
- S3-2 プロテオミクスを手法としたタンパク質のプロファイリングと相互作用解析
 磯辺俊明^{1,2}, 山内芳雄², 田岡万悟¹, 夏目徹^{1,3} (都立大院・理¹, 文部省プロテオーム解析プロジェクト², 産総研・生命情報解析研究セ³)
- S3-3 The Use of Mass Spectrometry in Proteomics
 Scott D. Patterson (Celera Genomics)

- S3-4 蛋白質だけでは決まらない蛋白質の性質：Glyco-catch法による糖鎖修飾の系統的解析
平林淳, 笠井献一 (帝京大・薬・生物化学)
- S3-5 プロテオーム解析によるイネゲノム機能解明とその応用
小松節子, 小西博郷, Shen Shihua, Rakwal Randeep, 楊広笑, 吉川学, 佐々木卓治
(農水省・生物研)
- S3-6 蛋白質間相互作用へのゲノムのアプローチ：出芽酵母の網羅的2ハイブリッド解析
伊藤隆司 (金沢大・がん研・遺伝子染色体構築)